

『味覚の秋！収穫感謝祭が開催！』

11月16日(日)、おおさき食農交流館において『収穫感謝祭』が開催され、町内外から120人が参加し、味覚の秋を体験しました。当日は、旬の有機野菜等をふんだんに使っただご汁やサラダ、おにぎりづくりなどが行われ、昔ながらの杵と臼を使ったの餅つきでは、子どもたちが「よいしょ」の掛け声にあわせて必死に杵を使い餅つきを楽しみました。また、餃子づくりでは、この日交流を兼ねて参加したヒューマンサポートの中国人研修生13人が本場の餃子づくりを指導し、最初はうまくできなかった参加者も、だんだんと手つきがよくなり、楽しそうに交流を深めていました。

最後は、自分たちで作ったおにぎりなどを“マイ皿、マイカップ、マイ箸”でおいしくいただきながら、野菜重量当てクイズ、ビンゴゲームを楽しみ収穫祭を満喫しました。



『保育所などにベンチを寄贈！』

11月3日(月)、(株)有馬工務店(中牧忠代表取締役)と、その協力会で構成される有栄会(小能政幸会長・(株)小能鉄筋工業)の会員40人の皆さんが、木製ベンチ11脚を作製し、町内の保育所や改善センターなどへ寄贈してくださいました。この活動は今年で6回目を迎え、年々設置してほしいという要望の声が多くなってきました。

代表者の中牧さんは「会員一丸となり真心を込めて一生懸命作りました。地域に奉仕し、皆さんに喜んでいただけたら幸いです。」と話されていました。



『市民文化ホールで寸劇デビュー！』

10月7日(火)、鹿児島市民文化ホールで開催された鹿児島県国保連合会主催の『健康づくり推進員大会』で、大崎町健康運動普及推進員の皆さんが参加者800人の前で寸劇を発表しました。寸劇は『はっするばあちゃん物語』。引きこもりがちになったばあちゃんが家族や友人のすすめでマスターズプロジェクト(介護予防教室)に参加し、明るく元気になっていく様子がユーモアたっぷりに演じられていました。推進員の皆さんは、今回の体験が自信につながり、12月7日に推進員主催で開催した『くにの松原ウォーキング』も一致団結して取り組まれました。

